

第9回川崎病全国調査実施状況(中間報告) (疫学プロジェクト研究)

厚生省川崎病研究班

代 表 川崎 富作
疫学プロジェクト 柳川 洋
麻生誠二郎
今田 義夫
中村 好一

1. はじめに

本研究班は昭和45年以来、ほぼ2年に1回の割合で、8回にわたって川崎病患者の全国調査を実施し、昭和59年末までに63399名の患者を把握してきた。¹⁾

本年度は昭和60年1月～61年12月の2年間について、第9回の全国調査を実施した。現在調査票の回収を行っている段階であるので、中間報告を行う。

2. 方法

第8回までの全国調査と同様に100床以上の病院で小児科を有する施設2339カ所を対象に、調査票、前回の報告患者連名簿、川崎病診断の手引を郵送し、上記期間の新発生患者の報告を依頼した。調査票の様式は、表1に示すとおりである。

3. 結果

昭和62年1月21日現在の回収数を表2に示す。全国770施設(32.9%)からすでに回収されている。調査票はその後も回収されつつある。

今後の予定としては、時期をみて再依頼を行い、その後にコード化、集計解析、結果の報告を行う予定である。

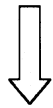
文献

1. 柳川洋：川崎病全国調査成績，川崎病疫学データのすべて，日本心臓財団編，P37-51，東京，1986。

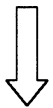
表-2

第9回全国調査の回収状況

	調査票発送施設数	回収施設数 (1月21日現在)		調査票発送施設数	回収施設数 (1月21日現在)
全 国	2,339	770	24 三 重	32	12
1 北 海 道	160	42	25 滋 賀	23	8
2 青 森	39	9	26 京 都	54	17
3 岩 手	39	13	27 大 阪	167	46
4 宮 城	44	18	28 兵 庫	97	24
5 秋 田	29	11	29 奈 良	24	7
6 山 形	22	11	30 和 歌 山	18	9
7 福 島	55	24	31 鳥 取	14	4
8 茨 城	48	11	32 島 根	20	10
9 栃 木	29	9	33 岡 山	49	15
10 群 馬	32	16	34 広 島	51	26
11 埼 玉	82	19	35 山 口	33	16
12 千 葉	74	22	36 徳 島	21	7
13 東 京	216	75	37 香 川	25	9
14 神 奈 川	110	48	38 愛 媛	31	11
15 新 潟	51	23	39 高 知	32	9
16 富 山	21	8	40 福 岡	85	20
17 石 川	36	15	41 佐 賀	22	7
18 福 井	23	5	42 長 崎	39	11
19 山 梨	23	4	43 熊 本	43	15
20 長 野	45	16	44 大 分	18	4
21 岐 阜	38	17	45 宮 崎	18	7
22 静 岡	53	19	46 鹿 児 島	33	10
23 愛 知	103	21	47 沖 縄	18	10



検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用
論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



1.はじめに

本研究班は昭和45年以来、ほぼ2年に1回の割合で、8回にわたって川崎病患者の全国調査を実施¹⁾し、昭和59年末までに63399名の患者を把握してきた。本年度は昭和60年1月～61年12月の2年間について、第9回の全国調査を実施した。現在調査票の回収を行っている段階であるので、中間報告を行う。